

市町村名	恩納村						
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	万座毛周辺活性化施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	企画課	事業実施 (予定)年度	平成24~30年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	多くの観光客が訪れる「万座毛」は、施設の整備が行き届いていないため、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,134	13,673	-	14,953	-
		(b) 予算現額	4,820	13,673	-	20,000	-
		(c) 増減額(b-a)	▲ 314	0	-	5,047	-
		(d) 繰越額	-	-	13,673	-	14,403
		A. 計(b+d)	4,820	13,673	13,673	20,000	14,403
	B. 執行済額		4,820	0	12,852	5,597	9,313
	うち交付金充当額		3,856	0	10,281	4,477	7,451
	次年度繰越額		0	13,673	-	14,403	-
	執行率(%) (B/A)		100.0%	0.0%	94.0%	28.0%	64.7%
予算の状況の説明		駐車場建設位置の決定により駐車場の実施設計が必要となったため、5,047千円を平成27年度で増額した。また、実施設計における施設の配置等について、指定管理予定者及びテナント入居予定者との協議に不測の日数を要したことから、14,403千円を平成28年度に繰越した。当初予定していた土質調査業務を平成28年度で実施することとなったため、5,090千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	26年度	27年度	28年度	
	活性化施設整備に向けた(土産品店、トイレ、散策道等)の基本設計の実施	目標	(基本計画策定)	(整備方針、利用・運営計画、施設計画等の検討)	(基本設計の実施)	()	
		実績	基本計画策定	整備方針、利用・運営計画、施設計画等の検討の実施	基本設計の完了		
	駐車場施設整備に向けた実施設計の実施	目標	()	()	(実施設計の実施)	()	
		実績			実施設計の完了		
達成状況説明	平成24年度に基本計画を策定し、平成26年度に整備方針、利用・運営計画、施設計画等の検討を実施し、平成27年度に基本設計を策定した。平成27年度に駐車場施設整備に向けた実施設計を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	活性化施設整備に向けた基本設計書の完成	目標	()	(基本計画策定)	(実施計画策定)	(基本設計完成)	()
		実績		基本計画策定	実施計画策定	基本設計完成	
	駐車場施設整備に向けた実施設計図書の完成	目標	()	()	()	(実施設計完成)	()
		実績				実施設計完成	
	進捗状況説明	建築基本設計及び駐車場実施設計書が完成した。平成28年度は土質調査の実施、平成29年度は、建築工事実施設計業務及び駐車場整備工事に取り組み、平成32年度の開館に向けて関係機関と調整を図り、事業を実施する。					

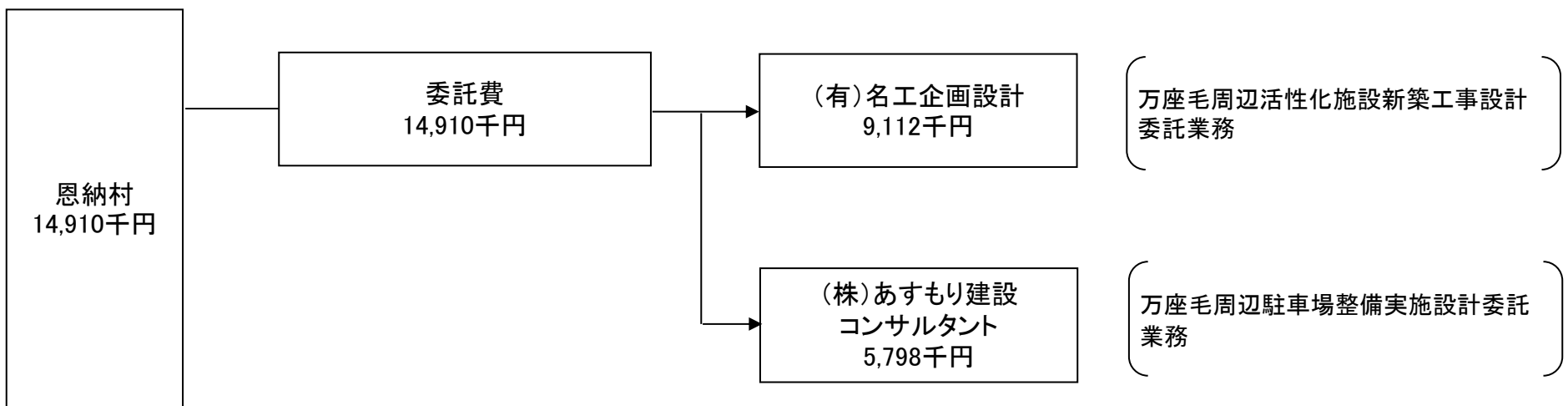
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄を代表する観光地「万座毛」は、土産品店やトイレ等の施設整備が行き届いておらず、また、駐車場が狭隘なことから、観光シーズンや夕陽が沈む時間帯には交通渋滞が発生し、周辺住民の生活にも支障をきたしている。さらには、観光客と車両が混在し、事故が発生しているため危険な状況である。 ・活性化施設の配置等について、指定管理予定者等との協議に不測の日数を要したため、建築基本設計及び駐車場実施設計を平成28年度に繰り越して事業を実施した。 ・保安林、国定公園、県文化財(名勝、天然記念物)等の法規制許認可業務に時間を要しているため、関係機関との十分な調整が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画より遅れが生じているが、関係機関との協議等を密にし、早期に取り組むことで、円滑に事業を進めていく。 ・課題の一つである駐車場の整備を促進することにより、事故等の危険を回避することができる。 ・平成29年度実施の建築工事实施設計業務の年度内完了を目指すため、指定管理予定者等との連携等を密に行う。

今後の取り組み方針

- ・指定管理予定者等や関係機関との協議に時間を要するため、早期に取り組む、平成32年度の開館に向けた事業実施に取り組む。
- ・駐車場の整備工事の開始にあたり、観光客や事業所等への周知を図り、安全に工事が実施されるよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,816	14,910	11,928	2,982	906



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△業務内容の変更により多額の不用額が発生した。関係機関との十分な調整により、計画的な事業執行が必要である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	